

偉人伝 石田梅岩と石門心学(一)

大和商业研究所 代表 清水 正博



今号より十二回に亘り、石田梅岩と門弟達の活動を紡いで参ります。よろしくお付き合いのほど、お願い致します。

寺田一清先生が『石田梅岩に学ぶ』を出版

一九九八年、寺田一清先生は森信三先生の『石田先生事蹟・解題』に着想を得られ『石田梅岩に学ぶ』日常凡事に心を尽くす』を発刊されたと聞き、知人の紹介で岸城読書会を家内と訪ねた。梅岩についてはそれ以前に十年程、書物をあさり読んでいたが、著者は皆、物故者であり、「生きている著者に出逢えた！」と欣喜雀躍した。

梅岩は現在の京都府亀岡市の農家の次男に生まれ、京都の商家に丁稚奉公に入る。四五歳で独立し私塾を開講。『都鄙問答』などを出版し六十歳で没し

た。多数の人材を育成し、門弟が梅岩を「石門心学」と名付けた。職分の上で人々は平等であると説き、勤勉・儉約・利他の徳行を率先して実践した。商人道の祖と称せられ、我が国の経済発展の基盤を担ったと言われる。

偉大なる革新者・石田梅岩を知る

私は一九五〇年に長野県上田市の農家の次男に生まれた。卒業後、大阪で小売業に奉職し定年まで勤務した。

三十代のとき、中期計画策定のため商業史をひも解き、日本の小売業が起こした世界に誇るべき以下の三つのイノベーション(経営革新)を発見した。

①販売の革新…三井高利による越後屋の創業(一六七三年)

②理念の革新…石田梅岩による商業倫理の確立(一七二九年)

③情報の革新…セブンイレブンのCVS業態の刷新(一九七四年)

①③は世の中によく知られているが、②の偉業は現代に広く伝わっていないため、②の探究・弘布に生涯をかけようと、今日まで歩んできた。

退職後は講義や執筆に携わり、生涯現役を目指している。私の職歴は偶然にも梅岩に近く、師と仰ぎみて身を律してきた。

全国に設立された石門心学舎

私がこれまでに訪ねた心学関係地(子孫・後継者、建物・史蹟、顕彰碑・墓碑、遺品・蔵書類等)は全国で百箇所ほどのぼる。本年からはこれまでの執筆文書や収集資料をとりまとめ、出版し、梅岩精神を現代に蘇らせたいと志している。

左頁に江戸期の石門心学舎一覧を掲載した。皆様の近隣に心学舎が存在し、ご先祖が学んでいた可能性はないだろうか。心当たりがあればお知らせください。

(続)

(〒636 0114 奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺西3-5-8)